

学習目標

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
- (2) 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

	単元・題材名	学習内容
4月	1. 折れ線グラフと表	・身の回りの自称について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして、統計的な見方を伸ばす。
5月	2. 角の大きさ	・角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、角の大きさについて量の感覚を身につけられるようにする。
6月	3. わり算の筆算(1)	・2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
7月	4. 垂直・平行と四角形	・直線の位置関係や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
9月	5. そろばん	・そろばんの仕組みについての理解を深め、そろばんを用いて、整数や小数の加減計算をする。
9月	6. 大きい数のしくみ	・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
10月	7. わり算の筆算(2)	・整数の除法について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
10月	8. がい数の表し方	・概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積もりをしたりする。
10月	9. 計算のきまり	・計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用する。
11月	10. 面積のはかり方と表し方	・面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算にによって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。
12月	11. 小数のしくみ	・小数の意味や表し方及びその加法や減法についての理解を深め、用いる。
12月	12. 変わり方調べ	・伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにする能力を伸ばす。
1月	13. 小数のかけ算とわり算	・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらの計算ができるようにするとともに、小数の理解を深める。
2月	14. 分数	・分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる。
3月	15. 直方体と立方体	・図形についての観察や構成などの活動を通して、直方体や立方体、平面上や空間のものの位置の表し方について理解し、図形についての見方や量感を豊かにする。
3月	16. 4年のふくしゅう	・4年生で学習した事柄について復習する。

評価の観点

【算数への関心・意欲・態度】 数理的な事象に関心をもつとともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。

【数学的な考え方】 数量や図形について基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。

【数量や図形についての技能】

整数、小数及び分数の計算をしたり、図形の面積を求めたり、図形を構成要素の位置関係に着目して構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。

【数量や図形についての知識・理解】

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。

評価の方法

テスト 発言内容 活動の様子 プリント ノート